

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。朝夕めっきり涼しくなりましたが皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

先日めぐり合った利用者様の体験談を聞き、是非弊社の広報誌に載せ後世に伝えたい旨をお願いしたところ。心よく承諾を得ました。

体験をされた方は松戸市や千葉県で「被爆者

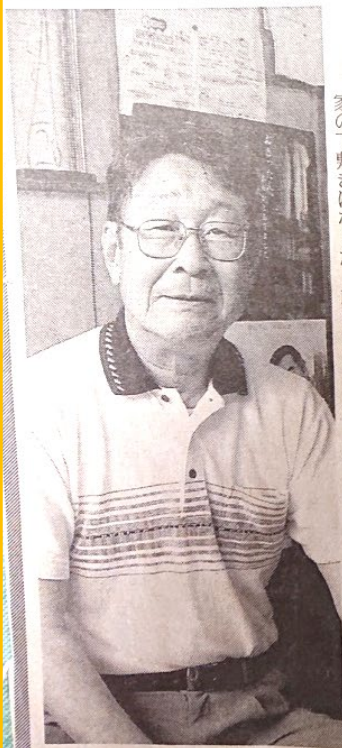
の会」の理事や副会長をされていた方です。戦争は二度と起こしてはいけない人類最優先の課題だと考えますが、過去に悲惨な体験をされたことを知ることは私達の使命だとも思います。

その方の奥様が言われた言葉が印象的でした。「誰かが手を差し伸べれば幸せになれる人は沢山いるんですよ」慈悲に溢れたことば・・・私たちも忘れては行けない気持だと肝に命じました。誰にでも感謝を忘れない素敵なお夫妻です。

これからの季節、冷え込んでまいりますのでお身体にお気をつけてください。

利用者さんの記事紹介

被爆者の会『友愛会』で活動されている柿沢敏雄さん



外が稲妻のように光り、気を失った

あちこちで火の手が上がっていたので、近くにいた小学生くらいの男の子たちと排水路を伝って逃げた。途中、家の下敷きになった4歳くらいの女の子

分しか覚えていない。気が付いたら、崩れ落ちた木造の家のがれきの中に埋もれていた。けがをしながら左手の包帯ががれきに引っかかり、動けなかった。火の手が近づいており、もうだめだとあきらめた。その時、はりの下敷きになっていた父が断末魔の声を上げ、はごと我に返った。包帯を何度か引っ張り、ようやく外れた。死んだ父が最後の力を貸してくれたと思っている。

父の断末魔声に救われて

「手はついているかと聞いて、妻が「大丈夫」と答えて初めてほっとした。原爆が投下されなければ違う人生もあったと思う。被爆当時は向学心に燃えており、将来は工業系の大学に進み、物作りにかかわりたいと思っていた。でも、父が亡くなってその夢も断念した。がれきの下で死を覚悟した時を思い出さずからか、今も真っ暗な部屋では眠れない。

松戸市在住
柿沢敏雄さん (74)

子を見つけた。上平身だけ出た状態だった。なんとか助けてあげたかったが、そばまで火が来ていてどうすることも出来ず、立ち去った。今でもよく夢に見る。どうしてあの時、助けてあげられなかったんだろうと。

サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】
小谷野 奈美



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の
小谷野 奈美です、よろしくお願いいたします。

介護の仕事は初めてですが、今までの経験を活かして皆さまに喜んでいただけるサービスを提供できるように頑張っております。

【入社8/5】 【血液型A型】



井上から
メール！

小谷野さんをどうぞよろしくお願いいたします。
週五回、出勤しております。

介護に役立つ書籍紹介

半ダース介護 6人のおジジとおババお世話日記

著：井上 きみどり

複雑な家庭で育った夫との結婚。「老後の世が大変だから」と両親に反対されても「何とかなる!」と思っていた。時は流れ、介護が必要になった親たちの家々を自転車で巡回する日々がスタート。病院への送迎、食事の配達、入浴介助、気まずい義父のシモのお世話。追い打ちをかけるように、彼女自身にも乳がんが見つかり——他人事じゃない介護の実情を描くコミックエッセイ。



NEWS 今月のニュース

高齢者 転ばぬ先の 視野

金沢工大院生 尾口で実験

金沢工業大（野々市市扇が丘）大学院工学研究科一年の林田脩平さん（23）が、高齢者の視野の範囲を研究することで、歩行中の転倒を防ぐアイデアを見つけようとしている。集めたデータを分析し、高齢者福祉に役立てる考えだ。

実験では被験者がパソコンにつながれた特殊な眼鏡を着け、前方の画面中央を真っすぐ見ながらウォーキングマシン上を歩いてもらう。画面には上下左右に白いマークが四つずつ並んでおり、歩いて

いる最中に一つだけ〇・〇五秒間、黒くなる。被験者には歩きながら黒丸の位置を答えてもらう。

二十代の学生と、白山市尾口地区中心に六十五歳以上の各二十人ずつに協力してもらう。普段の歩行中の視野が測定できるよう、一人二百五十六回実験してもらう。二日には同市尾口公民館で実験した。月末には実験を終えるという。

林田さんによると、高齢者は黒い丸のマークが中心から離れるほど位置を間違える傾向にあるという。二日の実験に参加した男性（65）は「視力や反射神経がに

ぶくなっていると実感」と感想を述べた。林田さんは「高齢者の視野の範囲が分かれば、歩行時の注意点も的確に伝えられる」と話している。



<中日新聞
2019年9月3日(火) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>